

(議長)

会議を再開致します。

次に健康推進課所管の予算並びに関連議案について、一括補足、補足説明を求めます。

「健康推進課長」

健康推進課長。

(議長)

健康推進課課長。

「健康推進課長」

よろしく申し上げます。

健康推進課所管の予算につきまして、えー補足説明させていただきます。えーまずは一般会計です。新規の事業は3件ございます。

えー1つ目は、地域医療連携システム更新補助、192万5千円でございます。えー予算資料の10ページをご覧ください。えー令和7年度まで、地域医療連携システムや休日医療対策、ドクターヘリなど、それぞれの事務事業名としていましたが、えー令和8年度から、えー地域医療支援という一つの事業名に集約しております。えー事務事業一覧の135番、地域医療支援の中に、えー含まれております。

えー今回新規で、えー更新補助を予定しております、地域医療連携システムは、えー南檜山地域において、1次医療圏である、うー各町の病院や診療所と、えー2次医療圏である道立江差病院との間で電子カルテや画像、医療情報などを共有しているものでございまして、前回の平成29年度の更新から8年以上経過しており、えー新年度町内の二つの、えー民間医療機関でシステムを更新する費用の一部を補助するものでございます。

えー新規事業の2点目、RSウイルスワクチン接種費、予防、接種費用助成、82万2千円です。予算資料11ページ、えー事務事業一覧の142番、感染症対策の推進に含まれております。RSウイルスは、えー生後2歳までにほぼ100%の乳幼児が感染され、感染するとされる呼吸器感染症を引き起こすウイルスでございます。えー特に、生後6カ月未満の新生児から、えー乳児期の、えーお子さんが感染すると重症化しやすいと言われております。このさん、感染症を予防するため、妊娠28週から36週までの、おー妊婦にワクチンを接種することで、胎児に抗体が移行され出生後の乳幼児が肺炎等で重症化することを防ぐ、防ぐことが期待されるワクチンで、現在は予防接種法の任意接種に位置付けられておりますが、令和8年度から定期接種化が見込まれ、この費用を助成するものです。令和8年度は、1人当たり約3万3千円と想定しておりまして、このワクチンを25人に接種すると見込んで事務経費も含めて予算計上したものでございます。

次に健康管理システム改修業務で10、115万8千円です。えー事務事業一覧144

番でございます。自治体情報システムの標準化に伴いまして、乳幼児健診や予防接種などの情報を中間サーバーに複本登録するためのシステム改修費でございます。その他、継続の事業につきましては、えー75歳以上の後期高齢者等に係る健診事業、後期高齢者等の予防接種事業を後期高齢者医療特別会計に集約したほかは、昨年度から大きくする、増減するような事業はございません。

えー予算に直接的な、えー計上はしておりませんが、新年度は、えー包括連携協定を締結している、サツドラホールディングス株式会社の協力を受けながら歯科検診を促進する事業に取り組みます。町内の歯科医で歯科検診を受けた方にエゾカポイントを付与して、自分では気づきにくい歯周病などの症状が出る前に、予防的に歯科を受診する動機付けを促すもので、えーポイント付与に係る町の金銭的な負担は無く、えー町民の健康意識を高める取り組みを実施します。

併せて、えー令和8年度には、えー平成27年度に策定した江差町新型インフルエンザ等対策行動計、行動計画を改定するほか、平成30年に策定しました江差町自殺対策計画を引き継ぐ第2期の計画として、江差町命を支える計画を開始します。両計画共に、現在最終調整中のため、本日は概要版を議員の皆様のお手元に配付させて頂きましたが、えー今年度中に計画を決定し、改めて議員の皆様にも計画書を配付させて頂きます。

江差町新型インフルエンザ等対策行動計画は、現行計画の策定後に発生した新型コロナウイルス感染症の経験を経て、えー国、道がそれぞれ行動計画を見直し、改定したことに伴いまして両計画との整合を図るため、道が示したガイドラインに沿って町の行動計画を改定するものです。

江差町命を支える計画は、えー第1期の計画を踏まえまして、今後10年間の町の自殺対策計画として策定するもので、えー既に町内の関係機関、団体との意見交換もしながら、えー今年度中に計画を策定するものです。令和8年度の予算には計上はしておりませんが、例えば江差保健所の保健師に、えー講師をお願いして、自殺防止の担い手となるゲートキーパー養成講座を開催するなど、予算を掛けずに出来る取り組みもありますので、町民の不幸ゼロの実現に向けて取り進めて参ります。

続いて、国民健康保険費特別会計について説明致します。

予算資料の1ページをご覧ください。えー予算の歳入、歳出の総額は7億4,269万1千円で前年比667万1千円の増でございます。内容につきましては、予算資料26ページから27ページの予算構成表をご覧ください。

えーいわゆる団塊の世代の方々が、徐々に後期高齢者に、えー達しておりまして、えー国保の被保険者数は減少傾向にありますけれども、保険給付費の増額傾向や、えー令和8年度からこども子育て支援金制度が開始となります事から、えー北海道国民健康保険団体連合会への納付金も増額となり予算規模は微増となっております。

最後に、後期高齢者医療特別会計について説明致します。

予算資料の1ページにお戻り下さい。えー予算の歳入、歳出の総額は2億87万3千円で、前年比、えーと5,464万1千円の増でございます。内容につきましては、予算資料28ページの予算構成表をご覧ください。

えー一般会計でも説明しましたけれども、えー75歳以上の後期高齢者等に係る健診事業、予防接種事業を令和8年度から後期高齢者医療特別会計の方に集約した事や、えー国保と同様に医療費の増大、こども子育て支援金制度の開始になるなど、機構、後期高齢者医療広域連合への納付金が増額となり予算規模が増えております。

以上、健康推進課所管の予算につきまして、補足説明を終わります。ご審議方よろしくお願ひ致します。

(議長)

以上で補足説明が終わりましたので質疑を許します。質疑希望ありませんか。

「小野寺議員」

はい。

(議長)

小野寺議員。

「小野寺議員」

あの恐縮ですが、この間、一般質問で、えー取り上げて参りました。まっ関係する課との横の連携の中で、えーそれこそ課長おっしゃいました不幸ゼロを無くすという部分で、えーちょっと掘り下げてお聞きしたいことがあります。

一般質問で、えー課長も聞いていらして、えー私の趣旨は、あのー理解して貰える部分も有るのかなと思うんですが。分かり易く言うと、例えば上ノ国ですと、えー江差で言えば保健推進課、えー高齢あんしん課、えー町民福祉課の障がい部分、一緒です。なので、そこでもう基本的に、えー管理も含めて、情報データベースの管理も含めて出来るんですが。まあ江差は今、現状こうなってます。それで、色々事業、健康推進課と高齢あんしん課、若しくは、えー町民福祉課の障がいと色々連携する部分があると思うんです。具体的にどんなふうになってるか、ちょっと具体的な事でお聞きしたいと思います。3つお聞きします。

まずフレイル。えーこれこそ高齢あんしん課と、ほ、まあ本当にきつと、同じようにやって、中々こういうの見ても分からないですよね。なので、ちょっと、あのー私にも分かり易く、あの1、2、ちょっと教えて貰いたいな。フレイルでの、えー連携と言いますか、対策、対応ですね。

で、もう一つ。それとも係わるかもしれませんが、私この間、えーNPOで色々、高齢者、障がい者、精神障がいの方も含めて、えー色々対応している時に、特に一般高齢者もそうなんですが、食事、栄養、これが本当に、もう物価上がって、食べるもんが高いもんだから、もう必要以上にね、抑えてるんですよ、そこまで抑えなくたってってぐらい。ですから本当にね、これ高齢になったってこれだけの必要だよとか、こんなふうに食べなさいよだとか、などなどの、そういう栄養指導と言うんでしょうか、食事指導と言うんでし

ようか、これも多分、健康推進課と、えー高齢あんしん課でしょうかね。ちょっとそこら辺も、あのーどんな風にやってるのか教えて貰いたい。

で最後、精神障がい者。これは個別にもちょっと色々、おーそちらの保健師さんにも、保健師さんにも色々相談したケースなんですけれども。正直言って、精神障がい、相当重くならないと北海道の保健所、は、そこは何とか対応してくれますけれども、普段あんまりそうでなかったら、保健所は基本的に対応してくれていません。そうしますと、江差町として、えー精神障がい者の関係、えー一般的な相談の部分は受けるかもしれませんが、いや、手帳だったら町民福祉課だねとか、65歳以上になると、まあサービスは介護だねとかって言う事で、本人は1人でも、その人がですね、あっち行ってこっち行って、こっち行ってと大変ですね。そういうケースはありますね。

ですから、やっぱり対応と言うか、しっかりと、えー窓口一つにして、その中で、あとは役場の中で調整すると言う事が、特に私、精神障がい者の場合必要だなんてね、痛く感じてますね、この間。えー一年前、年明けからも、ずーと、ちょっと色々、精神障がい者の方と対応していると思いが強いんですが、改めてちょっと、この精神障がい者の場合、どういうふうに連携取り、そういうデータの事も、きちっと、えー抑えて、そして対応についても、なるべくなら、えー一元的に対応しましょうねとかって、やってるのか、やっていないのか、ちょっとお聞きしたい。以上です。

「健康推進課長」

健康推進課長。

(議長)

健康推進課長。

「健康推進課長」

はい。えー小野寺議員の質問にお答えしたいと思います。

まず、えー大きく3点あった中の1点目、フレイルの対策につきましてです。こちらにつきましては、えーと、主に後期高齢者になるんですけども、高齢者の事業と、あのー介護の保険予防、介護予防の実施の一体的事業として、えーシニアカレッジ等に、えー職員が出向いて、えー事業をやっている中で、フレイルにも触れたり、あー今年度であれば口腔衛生士さんを招聘して、えーそのような取り組みを進めているところでございます。

えー2点目、食、食事と栄養につきましては、えーと具体的に、あの今、えーと栄養指導しているというものは、えーございませんけれども、物価高に関してはございませんけれども、えーと例えば、えー健康診断を受けた中で、えーちょっと指導を要するという方は栄養士が対応して、今いる実績はございます。

今後、あのー物価高等に関しまして、高齢者の方が食事を満足に取れているかどうかという部分につきましては、えー、あのー先ほど議員おっしゃいました、えー高齢あんしん課とか、町民福祉課とか、えーその辺と情報共有しながらですね、対応出来るものについ

ては、えー係わって行きたいなというふうに思っています。

えー最後、3点目の精神障がい者の対応につきましてです。えーと現在、精神障がい者に関わらず、町、町の方に何らかの申請等で、あー来庁された方につきましては、えーなるべく1カ所で、えー着席頂いて、えー担当が代わるものにつきましては、担当職員がその席に出向いて対応しておりますので、えーなるべく、あの一来庁された町民の方を移動させないで、えー済むような対応をしております。

えーと最終的には、昨日、あの一一般質問の中であった、えーその、課の統合含めて、あの大きな話になると思うんですけども、えーとりあえずそこまでの部分では、今言ったような従来の対応で、えーなるべく町民の方に不便の無いようにと言う事で、えー進めて参りたいと思います。よろしくお願ひします。

「小野寺議員」

はい、議長。

(議長)

小野寺議員。

「小野寺議員」

あの一、分かりました。

最後の精神障がいの方についてちょっとお聞きしたいんですが。中々、外に出歩けないだとか、人と話すのがちょっと苦手だなだとか、まっ色々精神障がいの方いらっしゃいます。

えーまあ、ちょっと私事で恐縮ですが、あの一私の妻、まあ町村の保健婦もやり、その後、北海道の保健婦も、おーやって、色んな事を、あの一聞いて、なるほどなと思ったことありますが。昔の保健師、本当に地域に出るのが保健所の仕事、町村の保健師ですね、今、正直、多分、時間が無いでしょうね。地域に出て、そのせ、精神障がいの方にも限らないんでしょうけれども、えー特に、特にそういうところに出向かなかつたら中々会えないねっていう方についての対応というのは、私、あの一特に精神障がいの方、あの一必要じゃないのかなという気がするんです。これは高齢あんしん課、町民福祉課と言うよりも、やっぱり健康推進課かなって私はちょっと考えらさるんですけども、ちょっとその点について何か、えーコメントあれば、頂ければなと思います。

(議長)

健康推進課課長。

「健康推進課長」

はい、えー質問にお答え致します。

えっ特に精神障がいの関係につきまして、あの実際にもですね、えー高齢あんしん課か

ら相談があったケースについて、健康推進課の保健師も同行して、自宅にお邪魔して、お話を聞いてとかいう対応の実績、あの一実際、実際にそういう対応もしてございますので、えー今後、あの一今後も積極的に、あの一気になる方、探してとというのはちょっと難しいかもしれないんですけども、とりあえずその一相談がある方だけでも、えー保健師含めて、えー、あの一対応に向かいたいと思っております。よろしく申し上げます。

(議長)

小野寺議員。

「小野寺議員」

分かりました。

課長、あまり無いものねだりしませんが、何かあって行くではなくて、もうね、ある程度、定期的に回ると言う事も含めて、ちょっとけ、検討して欲しいんですよ。状況って本当、元気そうに見えてても、何かで、もう急に状態が悪くなるっていう方、本当いらっしゃいますね、当然そちらで分ってると思うんですけども。

とすれば、やはり、一定の名簿を押さえているのであれば、定期的に回らなかったらね、掴めないですよと私は思います。是非、その点もご検討下さい。よろしくお願い致します。よろしいです。

(議長)

他に質疑希望ありませんので、健康推進課所管の予算並びに関連議案についての質疑を終わります。説明員入れ替えのため暫時休憩致します。

休憩 11 : 17